

# 平成27年度 取り組み内容 発表

平成27年4月～平成28年2月

ケアハウス さわらび

# 目標と達成手段について

## ▶ 稼働率の維持・向上

- ①入院時は、スムーズに退院となるよう病院と連携し、情報交換を行う
- ②福祉・医療等の各種在宅サービスを利用し、長期にケアハウスで生活を送っていただく
- ③見学者の増加と待機者の確保を行う

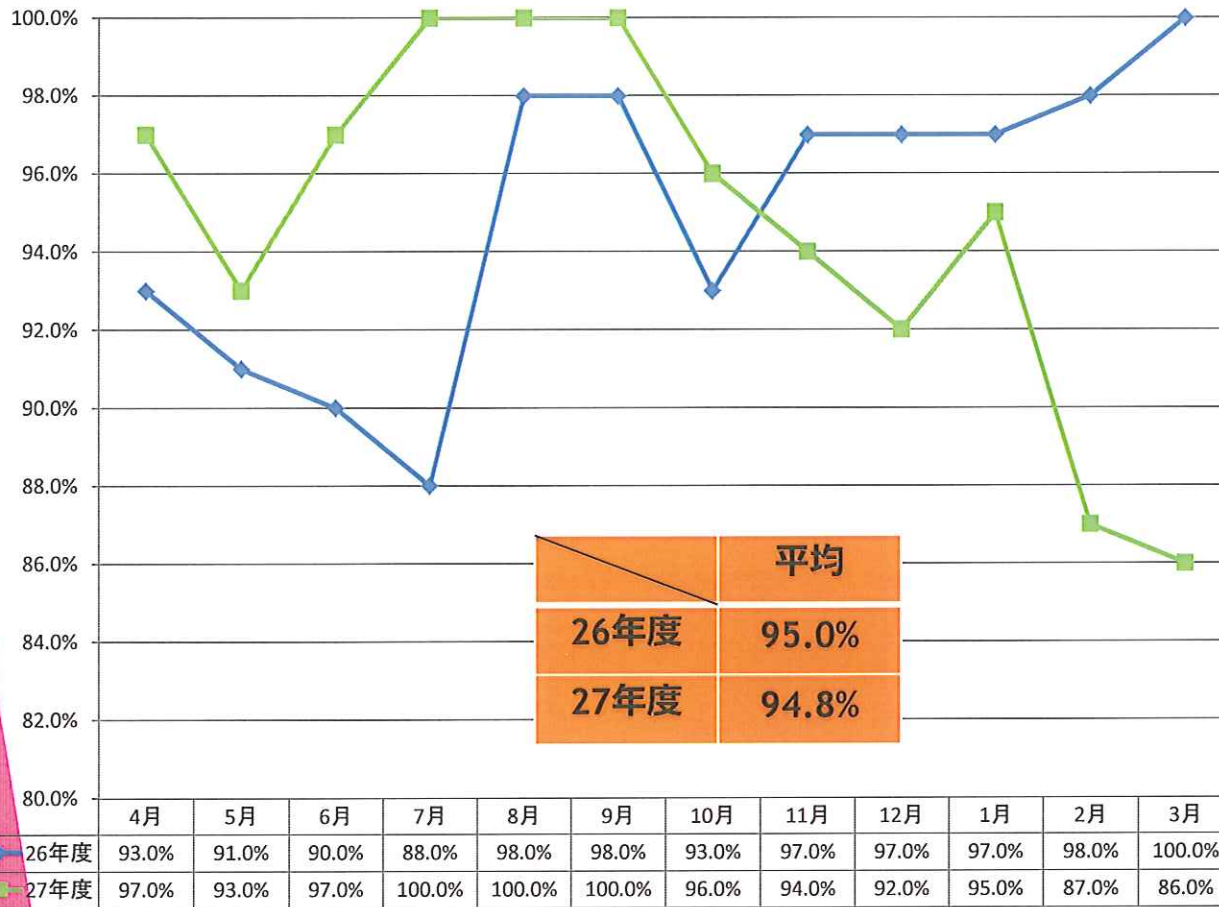
## ▶ 電気使用の節約

- ①必要のない電力消費をなくす

## ▶ 行事の参加促進

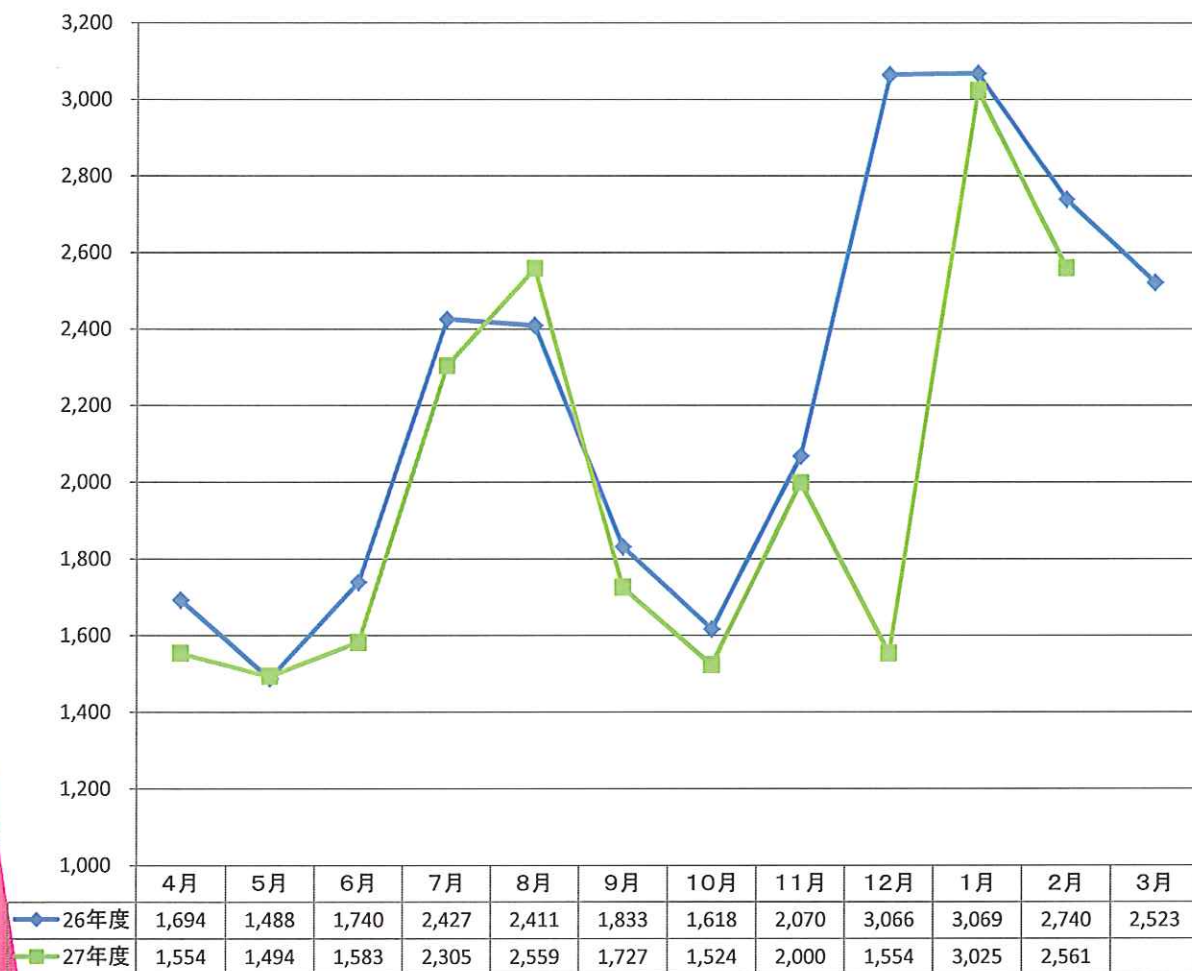
- ①個別対応を行う
- ②利用者様の声を聞く機会を作る
- ③外食の機会を作る

## ▶稼働率の維持・向上 要因についての詳細



- 大田氏が体調不良で、4月中旬よりかまな園ショートステイ利用。  
5月、ST利用のまま退去となる。
  - 6月、大田氏退去後の入居者は決まっていたが、居室改修工事に時間が掛かり、入居が少し遅れ、稼働率が97%
  - 7月・8月・9月と利用者様の体調不良もなく、稼働率100%
  - 10月になり、平岡氏・徳川氏が相次いで入院。引き続き11月には、手術のため12月まで再入院される。
  - 1月は稼働率も上がるかと思われたが、また2名の方が体調不良のため入院。
- ▶昨年度も退去者がおり、稼働率はずっと100%を切っていた。  
今年度、利用者様の体調管理には留意するも、体調不良者（手術をされる方）が相次ぎ、平均稼働率は昨年度より低い結果となった。

## ▶ 電気使用の節約 電気使用量についての詳細



本年度も、猛暑が影響してか、夏季の電力消費は大きかった。

しかし、昨年度よりも暖冬であったため、暖房の使用量は少なかった。

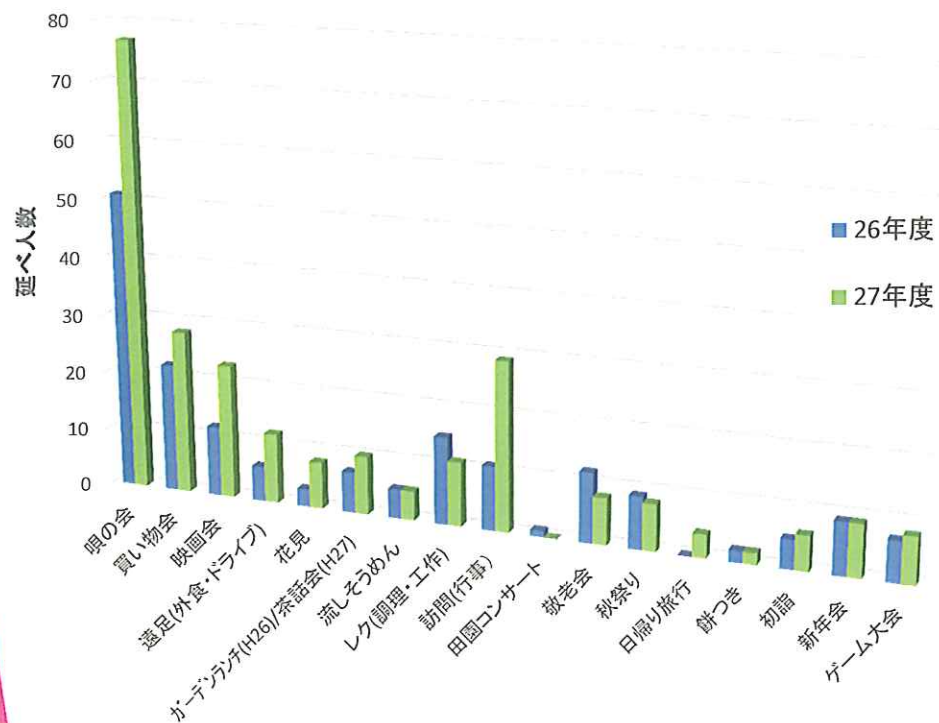
また今年度、浴室を改装し浴室暖房を導入したが、その影響は少なく電力の消費は昨年度よりも下がっている。

	平均
26年度	2,223
27年度	1,990

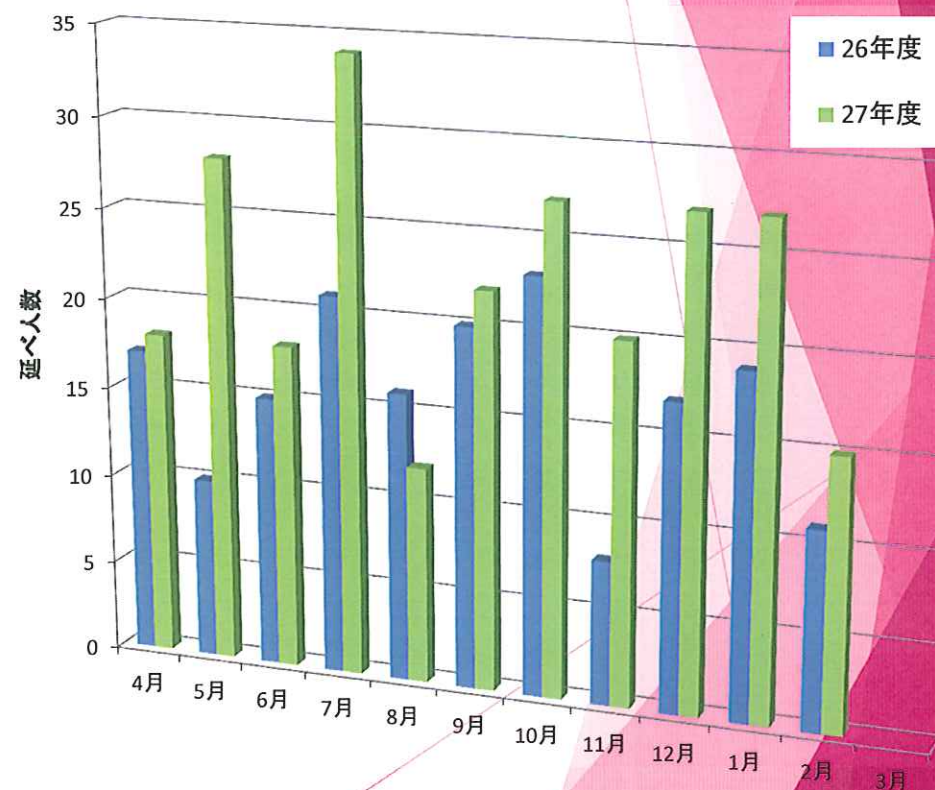
# ▶ 行事の参加促進

## 行事ごと・月ごとの延べ参加者数の概要

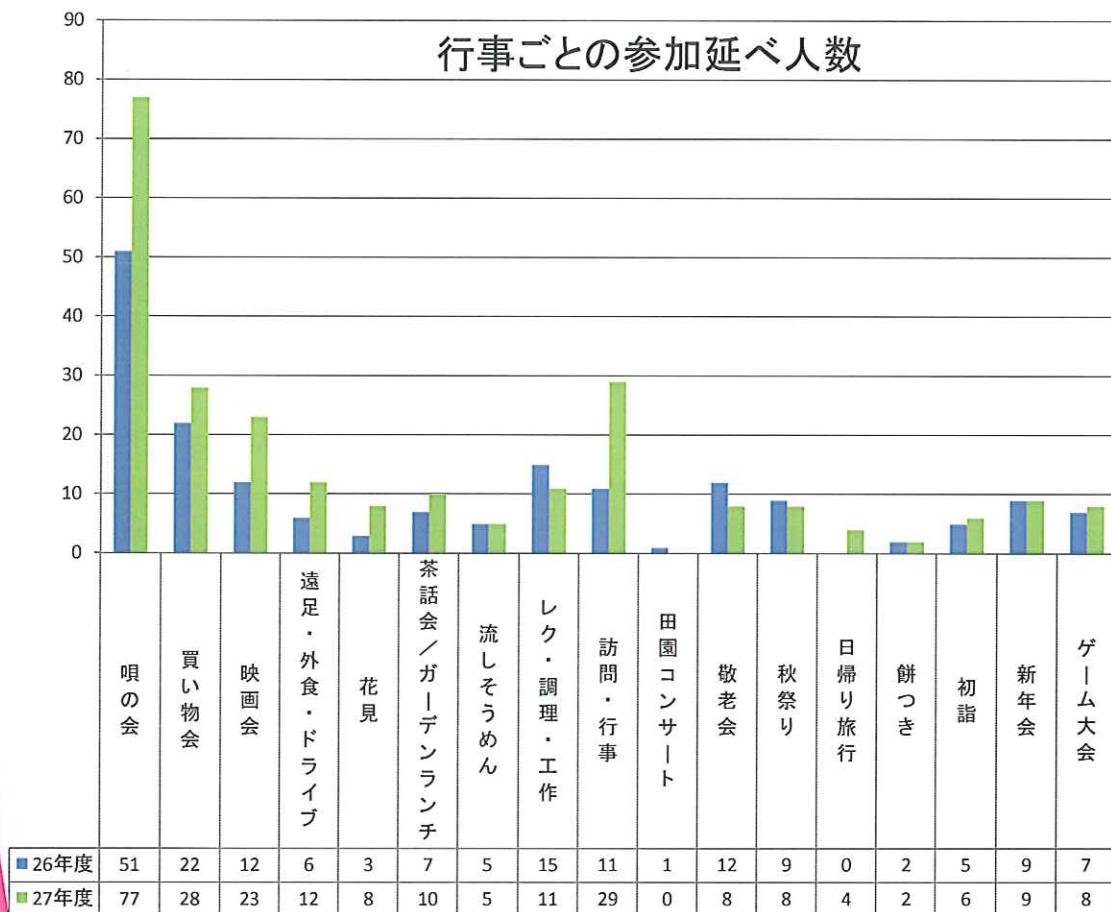
### 行事ごとの参加延べ人数



### 月ごとの参加延べ人数



## ▶ 行事の参加促進 要因についての詳細



- ・ 入居者の入れ替わりで、レクや行事に参加される方が増え、前年度よりも参加者が増えた。
- ・ 茶話会を新たに開催し、利用者様の要望などを聞くことができ、有意義であった。

	合計延べ人数
26年度	177
27年度	248

# 成果についてのまとめ

目 標	達 成 手 段	成 果
稼働率の維持・向上	①入院時は、スムーズに退院となるよう病院と連携し、情報交換を行う	<p>昨年度、利用者様の病状の重篤化で入院や退去などが相次ぎ、稼働率も平均95%でした。</p> <p>一方、今年度はさらに入院者が増え、昨年の稼働率を下回る結果であった。理由としては、手術が必要な利用者様（平岡氏：胆管結石、徳川氏：甲状腺乳頭がん、表西氏：尿管結石）が続出した事が挙げられる。</p> <p>しかし、手術後の身体機能の低下もなく、安定した日常生活を送られているので、引き続き利用者様の体調管理に努め、来年度は入院者を最小限に留められるようにしたい。</p>
	②福祉・医療等の各種在宅サービスを利用し、長期にケアハウスで生活を送っていただく	
	③見学者の増加と待機者の確保を行う	
電気使用の節約	①必要のない電力消費をなくす	<p>暖冬であったため、暖房費が少なく済んだこと。</p> <p>また、今年度の浴室改修の際に浴室暖房を設置したため、冬季の電力消費量が上がると推測したが、思いのほか影響が少なかったことも、昨年度より電気消費量を削減できた要因と考えられる。</p>
行事の参加促進	①個別対応を行う	<p>利用者様の入れ替わりがあり、レク・行事に参加される方が増えたことで、前年度より参加者数が増えている。</p> <p>しかし、利用者様からは「もっと外に出たい」との声もあり、希望に添えるように企画をしていきたいと考えている。合同の遠足は好評で、今後も参加者は増えると思われる。</p>
	②利用者の声を聞く機会を作る	
	③外食の機会を作る	